

# 東大阪市文化創造館

HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

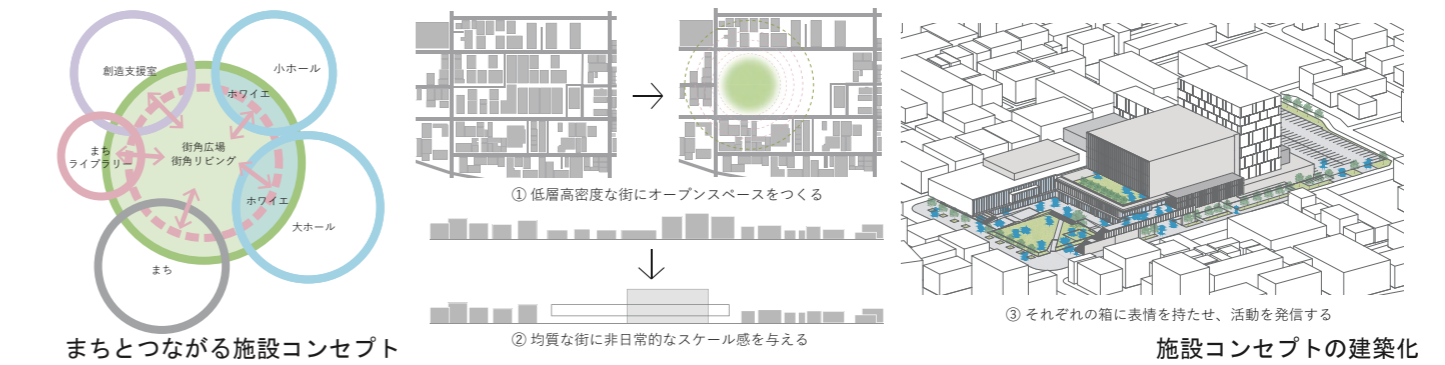
No. 03-000-2021作成

新築  
集会所

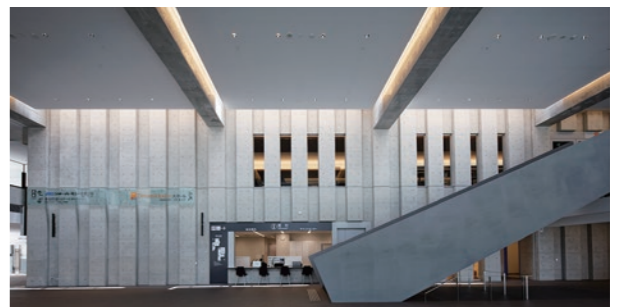
発注者	東大阪市/PFI東大阪文化創造館(株)	カテゴリー	
設計・監理	東大阪文化創造館設計・音響コンサル共同企業体 (株)佐藤総合計画関西オフィス/ (株)大林組大阪本店一級建築士事務所/(株)永田音響設計 (株)大林組	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術
施工		C. 各種制度活用	D. 評価技術/IB
		E. リニューアル	F. 長寿命化
		G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性
		K. その他	

## 街とつながり、豊かな地域環境を創出する文化創造の発信拠点

敷地は東大阪市の八戸ノ里駅北側200mほどに位置している。周辺は、低層住宅や中層集合住宅、更に多様な事業所が密集して建ち並び、混在する市街地が平坦な土地の上に広がっている。市民による文化芸術活動や交流が街に溢れることをコンセプトとした東大阪市文化創造館は、優れた音響空間と上質な鑑賞空間を備えた大ホールと小ホール、市民の文化活動に利用できる創造支援室等20室を備えた新たな文化芸術の創造発信拠点として、PFI事業により整備された。「街角広場」というオープンスペースを中心とした施設構成とすることで市民の暮らしの中心となる場所となり、地域環境の向上に貢献する施設を目指した。オープンな街角広場を取り囲む建築は、文化芸術活動や交流が滲み出る様々な表情をもつ箱を集積させた。水平と垂直のバランスをデザインし、素材と色彩を最小限に抑えることで、内部の活動が街に彩を加える。内部空間は、居心地の良いたまり場や様々な活動を覗き込める視点場を所々に設け、街と繋がる日常の中で未知なる非日常に出会える建築となった。



- ### 地域の環境向上・市民生活に寄り添う施設
- ・高密度な都市に「街角広場」というオープンスペースを創出
  - ・雨天時でも市民の居場所となる「棧敷ピロティ」を創出
  - ・ヤマザクラを中心とした街角広場と街路空間の奥行きと緑地率の高い緑化
  - ・保水性ブロック舗装と屋上緑化によるヒートアイランド化の抑制
  - ・駅前立地のため、駐輪施設にも活用できる幅歩道空間の確保
  - ・基準値の10%増量した雨水貯留槽による雨水流出の抑制

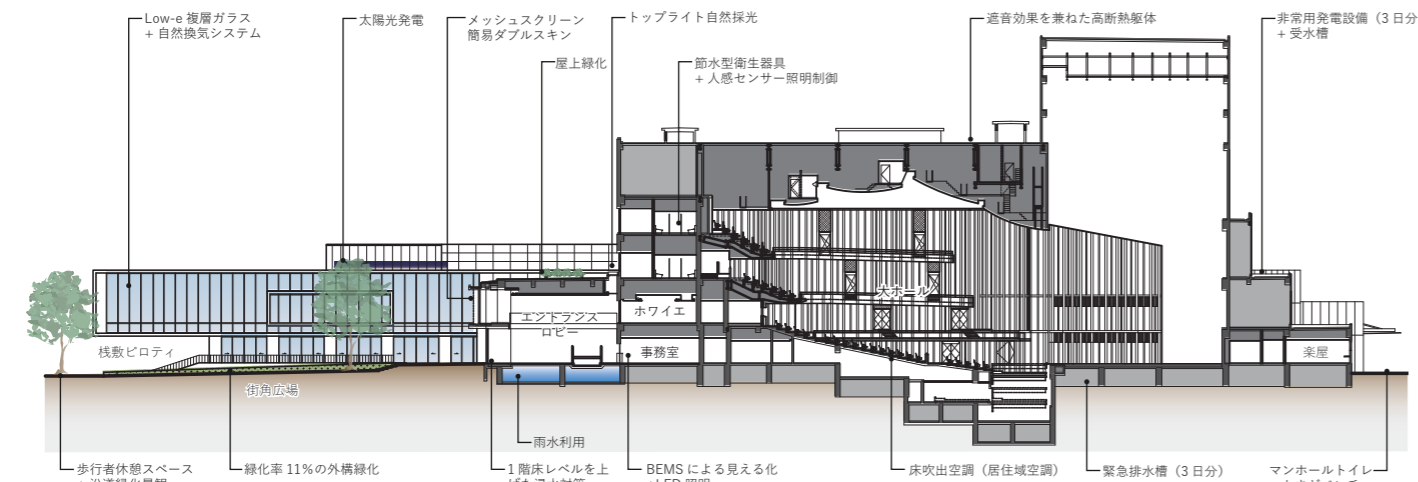


- ### 劇場建築としての環境配慮
- ・遮音性を確保した厚みのあるRC壁が建物全体の外皮性能を向上
  - ・NC-20を確保した最高の音響鑑賞空間
  - ・床吹出空調による快適性と省エネルギーの両立

- ### 自然エネルギーの有効活用と省エネシステムの採用
- ・中庭やトップライト自然光の導入による居住環境と省エネの向上
  - ・太陽光発電によるエネルギー使用量削減と発電量の見える化
  - ・メッシュスクリーン簡易ダブルスキンシステムによる空調負荷低減
  - ・電気室、受水槽を2階より上階に計画し、水害時の建物機能を維持
  - ・BEMSによる施設全体のエネルギー監視と効率的な設備運用を支援
  - ・照明器具の全館LED照明化と人感センサーによる消費電力低減
  - ・雨水の植栽散水再利用と、節水型器具による水資源省力化



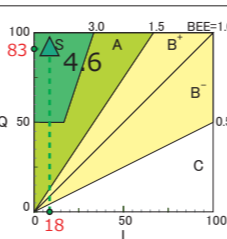
- ### 公共建築としてのBCPを高めた施設計画
- ・建築基準法の1.3倍の保有水平耐力を確保した高い耐震性の構造体
  - ・1階床レベルを周辺地盤から1.5m上げたレベルとした浸水対策
  - ・電気室、受水槽を2階より上階に計画し、水害時の建物機能を維持
  - ・72時間連続運転が可能な非常用発電機と3日間の容量を確保した受水槽により非常時の電源と水を確保
  - ・3日間分の非常用汚水槽により、排水機能を確保
  - ・備蓄倉庫や市民の一時避難場所や支援活動拠点としての機能確保



環境配慮建築断面図



建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減 65 %	Sランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 35 %	BEE=4.6
敷地面積	LCCO <sub>2</sub> 削減 29 %	2014年度版 自治体提出
敷地面積		
延床面積		
構造		
階数		



- ### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化、建築緑化、地域の郷土種への配慮)
  - Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (豊かな中間領域の形成、建物利用者の設計への参加)
  - LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (PAL性能向上、高性能ガラス、メッシュスクリーン簡易ダブルスキン)
  - LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然換気、自然採光、太陽光発電)
  - LR1. 3. 設備システムの高効率化 (ERR、BEIの向上、LED照明、センサー制御)
  - LR3. 2. 地域環境への配慮 (建築緑化、保水性、浸水性材料、交通負荷軽減、雨水排水抑制能力向上)